

なみせいだより

第27号

発行所 近畿税理士会浪速支部青年部
〒556-0016 大阪市浪速区元町3-1-20 5F
☎ 06(6647)5605

発行人 西 本 毅
編集人 谷 祐 司



祝・入船



浪速支部青年部 —あいさつ—	西本毅 (2)
ご寄稿「事業承継税制」	浪速税務署長 大熊健 (3)
新役員紹介…西川弘晃・谷祐司・伊藤昌紘・夫馬竜司・猿木真紀子	(4)～(5)
定期総会	鈴木義教 (5)
講話を聴講して	宅野善郎 (6)
ご臈屑に！—私のお勧め—	檜垣孝司 (6)
青年部冬季意見交換会に参加して	溝口咲見 (7)
ファミリー参加レクリエーション	
	金本昌史・古川貴博・古川航成 (8)～(9)
伝言板	(9)
ふぁみれくコーナー	(10)～(11)
入船！ 皆さん、よろしく	富井瞳 (11)
平成30年度青年部活動だより	(12)
編集後記	(12)

浪速支部青年部

—あいさつ—



青年部部长

西 本 毅

本年9月の第24回定期総会におきまして、浪速支部青年部部长に選任されました西本毅でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。また、平素は青年部活動に格別のご支援・ご理解・ご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。

私が、青年部に入会させていただいたのは、平成22年9月浪速支部創立30周年の年でした。それから総会・意見交換会などの行事やその後の懇親会・2次会の場で、支部の多くの先輩先生方とお話しをする貴重な機会をいただき、あっという間に楽しく(?) 歳月が過ぎ、今年で税理士生活10年目に突入しました。

青年部の活動の中で、今では恒例となっているファミリー参加レクリエーションに家族で参加させていただき、特に、ポートアイランドにある動物王国での体験は、今でも家族のいい思い出となっております。今後も、会員先生のご家族が楽しめる企画、思い出となる企画を続けていきたいと思います。

元号も平成から令和に代わり、ラグビー日本代表もベスト8に進出するという輝かしい年に（にわかラグビーファンですが）、大野先生からスタートして直前の猿木先生そして私へ、10人の先輩先生方、また多くの役員先生方が携わり、それぞれ思いを込められ、育てられた青年部を、引き継ぐ大役の重責に（リニューアル青年部から私は11代目部長です）身の引き締まる思いがいたします。「活動の拠点を同一地域に有し、ま

た、その世代を同じくする会員相互間における資質の向上、並びに親睦を深めることにより、さらなる連携を図ること」を目的とする青年部を、益々盛り上げられるように、役員先生方と一致団結して、誠心誠意努めていきたいと思っております。

本年10月から軽減税率が導入され、この「なみせいだより」が手元に届く頃には、レジでは10%での買い物が違和感なくなっていることでしょう。国内のとある有名な会社の社員食堂では「揚げ物税」となるものも導入されております。こういう風に税が使われることに一税理士としては、税の人気の無さに残念な気持ちになりますが、税務に関する専門家の集まりである青年部では、会員同士が、楽しく・面白く、お互いに情報交換し、研鑽し、自身がさらに成長できる組織として、また、地域にも税を身近に感じられるような活動も目指したいと思います。

末筆となりましたが、浪速支部青年部にご支援を賜っております先輩先生方、また関係各位の皆様方に心から深謝いたしますとともに、尚一層のご理解、お力添えをいただけますように心よりお願い申し上げます。





事業承継税制

浪速税務署長 大熊 健

事業承継税制は、ご存知のとおり「後継者である受贈者・相続人等が、円滑化法の認定を受けている非上場会社の株式等を（個人の場合は、青色申告に係る事業を行っていた事業者の後継者として円滑化法の認定を受けた者が特定事業用資産を）贈与又は相続等により取得した場合において、その非上場株式等（個人の場合は、その特定事業用資産）に係る贈与税・相続税について、一定の要件のもと、その納税を猶予し、後継者の死亡等により、納税が猶予されている贈与税・相続税の納付が免除される制度です。

何故、いま事業承継税制の拡充、そもそも事業承継の必要性が叫ばれているのかと言いますと、経営者の高齢化が進むとともに休廃業数が増加していることが背景に挙げられます。

中小企業庁が発表した2019年版「中小企業白書」によりますと、年代別に見た中小企業の経営者年齢の分布では、最も多い経営者の年齢は1995年（平成7年）に47歳だったのですが、2018年（平成30年）には69歳となっており、経営者年齢の高齢化が進んでいることが分かります。

加えて、企業の休廃業数は増加傾向にあり、2013年（平成25年）は休廃業数が約3万5千件（倒産は約1万1千件）であったのが、5年後の2018年は約4万7千件（倒産は約8千件）と約1万2千件増加しています。

なお、休廃業を選んだ企業の半数は黒字決算だったとも言われております。

休廃業した企業の経営者の年齢は、60代以上が全体の8割（83.2%）を占めるまで増加してお

り、企業の休廃業件数増加の一番の要因は高齢化による事業承継が難しい課題であることがより鮮明になってきております。

こうした状況が続きますと、様々な業種の地域経済の担い手が消えてしまう、何らかの手を打たなければ650万人とも言われる多くの雇用と約22兆円ものGDP（国内総生産）が失われる可能性があると言われています。

ある経済官庁の幹部は、「これまで中小企業政策は、資金繰り支援や補助金ばかりで、いかに企業を存続させるか、経営者が事業を引き継ぎ易くするかという視点が欠けていた。」と振り返っているそうです。

このように事業承継の問題は、企業の跡継ぎ問題のみならず、日本経済全体の問題でもあることから、早期かつ計画的な事業承継の更なる促進、そして、中小企業の円滑な世代交代を通じた生産性向上を図る観点から、平成30年度の税制改正におきまして、10年間の贈与・相続に適用される時限措置として事業承継税制の抜本的な拡充が行われたものです。

もちろん事業承継は、「税」のみの問題でなく、そもそも後継者を誰にするのかとか、今後の事業をどのようにするのかなど、会社を取り巻く様々な要因を考える必要があると思われますが、事業承継税制や事業承継については、ある程度のスパンが必要であることから、顧問先の状況や意向を確認され、より良い方向性を見出されてはいかがでしょうか。

新役員紹介



総務委員長

西川 弘 晃

この度の定期総会において再び総務委員長を仰せつかりました西川です。猿木前青年部長のもとで務めていた折にはたくさんの先生方のご参加、お力添えをいただき幾重にもお礼申し上げます。今回も続投です。もう3期目になります。西本青年部長が私を指名いただいたのは大変光栄に存じます。微力ではありますが西本青年部長を精一杯サポートしていく所存でございます。今後ともご参加・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

身の程わきまえず、どうしても先生方の寄付が必要です。僅かでも本当に有難いです。青年部の行事に是非ご参加頂くことを心待ちにしております。

最近の青年部の行事は若い先生方に積極的にご参加頂いております。ご参加頂いた先生からは気軽に参加できると仰って頂いております。支部行事に参加しにくい場合は是非青年部行事からご参加ください。

浪速支部青年部総務委員長として微力ながら全力で全うする所存でございます。今後ともご参加、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



広報委員長

谷 祐 司

この度、定期総会におきまして広報委員長を拝命しました谷です。役員推薦へのお話を頂いた時は、“まさか、ありえへん”と耳を疑いました。この挨拶文をお読みの皆さまも同じ感想をいただけていると思います。

まあしかし、年齢だけを見れば自然かもしれませんが、今は、何が起っても不思議ではない時代です。皆さま方から、良い機会を作って頂いたということで、一つ全力で広報のお仕事をさせて頂こうと考えております。猿木前青年部長からも、「青年部の仕事は、みんなで力を合わせて進めて

いくので大丈夫」、とのお話を伺っておりますので、原稿の執筆依頼のときは皆さまご協力の程、宜しくお願い致します。

自称フレッシュな広報委員長は、西本新青年部長のもと、皆さまが、ファミリー参加レクリエーションをはじめ定期総会、冬季意見交換会、研修などの青年部活動に楽しく参加している様子を、機関紙「なみせいだより」を通じてお届けできますよう、がんばってまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



研修委員長

伊 藤 昌 紘

この度、定期総会におきまして研修委員長を再び拝命しました伊藤でございます。現在、青年部では毎年総会時に署長講話を戴いております。今期は署長講話に加え、支部研修と青年部研修の共催という方法で認定研修を実施する予定です。青年部ならではの、楽しい認定研修を目指しますので、青年部会員並びに浪速支部先輩先生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今期からの西本青年部長をしっかり支えていけるように、研修委員長として頑張ります！



厚生委員長

夫 馬 竜 司

本年の定期総会で厚生委員長を拝命いたしました夫馬です。総会当日は別件があり、不在の状況での拝命となり恐縮です。

前任の西本先生から引き継ぎました。先生のように、楽しく、思い出に残る、そして和気あいあいとなる企画・立案をしたいと思います。今から来年のことを考えるとウキウキします。信貴山のどか村を超える立案を…

まずは1期2年、どうぞよろしくお願い致します。



新時代の青年部へ

直前部長

猿 木 真紀子

この度の定期総会におきまして、青年部長を任期満了にて退任させていただき、直前部長という役になりました。この2年間も、支部の先輩先生方並びに会員先生方から多くのご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様でファミリー参加レクリエーション、なみせいだより、研修、総会・意見交換会などの活動を通して、3K+1Sの役員メンバーを中心に、和気あいあいと集まっては笑いの絶えない時間を共有し、青年と呼ばれる幸せをかみしめながら、少し成長できたのではないかと思います。

また、総会後の意見交換会では、やっと部長を退任、と思った矢先に司会役を仰せつかりました。途中、言葉に詰まってしまう場面があり失礼しま

した。新リーダー西本青年部長がこれからの青年部を引っ張ってくださる、これでもう青年部長という大役を終えたのだという安堵の思いと一抹の寂しさと同時に、何故か腹の底からこみ上げる喜びを抑えきれなくなったのでした。

今後は、西本青年部長率いる新役員メンバーの先生方のお手伝いをさせていただき、微力ながらもお役に立てるよう尽力する所存でございます。青年部の今後ますますの発展を祈念致します。

近畿税理士会 浪速支部青年部 第24回 定期総会・意見交換会



◀ 定 期 総 会 ▶



第24回 青年部定期総会 に参加して

鈴 木 義 教

2019(令和元)年9月13日に道頓堀ホテルにおいて第24回青年部定期総会が開催されました。大熊浪速税務署長様はじめご来賓をお迎えし、猿木青年部長のご挨拶があり、司会兼議長の野口さんの議事進行のもと広報・厚生・研修の各委員会の活動報告、続いて会計報告、監査報告と滞りなく議事が進行しました。

その後役員改選の議事が始まり、かねて青年部長就任への意欲を隠さない金本広報委員長が本会事業に参加のため止む無く欠席であったことから、その無念を思い、是非金本さんを青年部長に推薦しようと声を上げるべく身構えたところ、議場に自薦他薦を求められることもなく、既定路線であったのか厚生委員長であった西本さんが新青年部長に選任されました。西本青年部長、おめでとう

ございます。金本さん、私の力不足で申し訳ない……。

その後の意見交換会で二年間ご苦勞された猿木さんを慰勞せねばならないと思っていたところ、何と猿木直前部長は司会を務めておられました。青年部、容赦なし。

私も、残り数年ですが、ますます青年部に協力して参りますので、よろしくお願いします。



講 話 を 聴 講 し て



宅 野 善 郎

令和元年9月13日17時30分より、浪速税務署大熊署長様をお迎えし、「私が愛した間接税」というテーマでご講話をいただきました。

最初に大熊署長様の経歴とこのテーマに決めた経緯についてのお話がありました。

税務署に勤務をされたのが昭和62年とのことで、まだ消費税が導入されていなかった時代のお話をいただきました。消費税の前といえば物品税です。私は消費税について講義をすることがあった関係で物品税に興味を持っています。消費税の仕組みを説明する上での参考として、物品税との比較や廃止された理由などの話をしていましたが、当時の記憶はあまりありませんでしたので色々調べた内容を話していました。しかし最近はその資料もあまり見つけ難くなり、興味を引く話のネタをもっと詳しく知りたいと思っていました。今回の講話で、当時の古い参考資料をご紹介いただき、

非常に有り難く思いました。

10月から消費税の軽減税率が導入されましたが、この問題点を議論する上でも参考になる内容でした。

揮発油税のお話ではハイオクとレギュラーの違いは何であるかや、酒税で特級と1級との違いをご説明いただきました。知らないという意識さえなかったことがたくさんあると気付かされました。

大熊署長様、この度は浪速支部青年部のために貴重なお話と資料をいただき誠にありがとうございました。



ご 員 員 に !

—私のお勧め—



檜 垣 孝 司

南海高野線でなんばから20分。大阪一和歌山の間地点にあり、都会と田舎の両面を持ち合わせる北野田駅界限。その一角にある「遊食ダイニング 粋楽(きらく)」は、地元民、特に女性に人気の創作イタリアンの店である。料理の美味さはいわずもがな、必ずオーダーしてもらいたいのが樽出しワイン飲み放題。飲み放題だけでも珍しいのに、さらに樽出し、しかも驚くなかれ1,300円で時間無制限！大阪市内では味わえない“トカイナカ”ならではのコスバである。

飲み放題だからといって、へべれけになるのはまだ早い。ほろ酔い気分でハシゴしてもらいたいの、**「japanese standing bar 呑猿(のみざる)」**だ。西成界限の立ち呑み店とはひと味違うスポーツバーのような雰囲気、隣の客との距離感も絶妙。絡み絡まれ、呑み呑まれ。あえておひとり様で行ってほしい場所である。ここまで来れば、もうへべれけになっても大丈夫。駅はすぐ近くだから、思う存分北野田の夜を満喫してもらいたい。

次回は伊藤先生お願い致します。



青年部冬季意見交換会に参加して



溝 口 咲 見

平成最後の12月、日産の元会長、カルロス・ゴーン氏の長期拘留がとりざたされている中、浪速のゴーン、西本先生の司会により、青年部冬季意見交換会がスタート。その前に行われた「メールBOX」の研修について、中谷前支部長が「実際にやってみないとよくわからん」とおっしゃられ、会場の空気が和んだところで、「お父ちゃんへ感謝を込めて♥私の租税教室」のビデオ上映が始まりました。

舞台は、「たこやきそば」という怪しげなメニューで大儲けした食堂。まず、いかにもうだつの上がりそうにない常連客…、ん？も、もしや…。すっかりなじんでいる割烹着姿の女性、冷徹そうな棒読み男性税務署員、キレ者の女性税務署員、利発そうな娘さん…。すごい、先生方が出演している！びっくりしながら鑑賞しました。上映が終わると関係された先生方が壇上へ。会場からは惜しめない拍手と、前支部長から「さすが税理士、何でもできる」と、労いのお言葉が送られました。

その後、淡路島日帰り旅行写真のスライドショ

ーで、先生方の素の一面を拝見し終えると、西本先生のアナウンスが…。「素敵なゲストをお呼びしています、入り口にご注目ください」注目していた反対側のカーテンから、ひょっこりはんが登場。でっぴりはんとヤジが飛ぶ中、青タイツにタンクトップ姿で、金本先生のワンマンステージ！その後は美声の先生方がカラオケに突入。デュエットもあり、後半は10名程の先生が、DA PUMPのU.S.Aで、息がキレッキレの踊りを披露。大盛り上がりとなりました。

私は、サンタクロース衣装のままの西本先生と同じ円卓だったのですが、西本先生は食事をする時間もなく記憶しています。西本先生を始め、楽しいひとときを提供して頂いた先生方に、そして私の様な新人にも気さくにお声がけくださる先生方にも、お礼申し上げます。最初は緊張の面持ちでしたが、良い思い出ができました。ありがとうございました。



ファミリー参加レクリエーション

奈良方面

青年部ファミリーレクリエーションに参加して

金 本 昌 史



令和初のファミレクが9月1日に開催されました。

今年はなんと信貴山のどか村と奈良祭都（金魚ミュージアム・忍者タウン）でした。忍者にあこがれる少年・少女にはたいへん楽しい一日だったのではないのでしょうか。

まず、8:45過ぎに『寝坊したおじさん』一人を残しOCATを出発しました。奈良の三郷町まで車で約1時間、缶ビールを1本飲んで談笑しているうちに到着しました。

のどか村は、味覚狩り、バーベキュー、体験教室、アスレチックなど、一日ゆっくりと自然の中で過ごせる農業公園です。

昼までの約2時間十分自然を満喫しました。入り口が山の上にあり施設が下の方にあるので下りながら何をするか考えました。まずは息子と山羊のいるところに行きました。山羊を見て餌をあげたりしました。

どんどん進むとアスレチックがありそこで息子と遊びました。いい運動になりました。さらに下に行くと釣り池がありました。浪速支部の先生方は釣り好きの方が多く、ここにはたくさんの先生方がいらっしゃいました。フナやコイなどが釣れるそうです。皆さんたくさん釣っていらっしゃいました。私はカメがかかりましたが、逃げられてしまいました。池や川での釣りは苦手なので他の場所でやりたいと思いました。

釣り池は下の方にあったので、BBQの会場まで坂道を登って20分くらいかかりました。BBQの前にいい運動になりました。

さあ肉食うぞおー

スベリ知らずの古川先生の乾杯の挨拶が終わり、いよいよ肉を焼きます。そしてビールで流し込みます。おいしいお肉とお酒でみなさま満たされたのではないのでしょうか。

食事が終わり、バスに乗り奈良祭都を目指します。奈良祭都の4階、忍者タウンでは手裏剣の修行(?)やチャンバラごっこをやって子供が楽しんでいました。大人はそんな子供の姿を眺めて、写真を取り…と思いきや、なんと大人のチャンバラ大会が始まりました。先生方も童心に帰り皆真剣にやっておられました。優勝は中谷先生とお孫さんでした。

金魚ミュージアムの方では、なんと40種類以上の金魚がいました。きれいでセクシーな部屋に所狭しと水槽が並べられ、いろんな金魚がいるもんだなーと感心しました。また、金魚すくいができたり、縁日エリアもありで時間が足りないくらいでした。

今回のファミレクは近場でしたが、近いところにも楽しいところがあるもんだなーと思いました。参加された先生方と家族の皆様お疲れ様でした。

・ファミレクに参加して

古 川 貴 博
古 川 航 成 (4歳)



父：ファミレクに参加してみてどうだった？
 航成：楽しかった。
 父：初めてやった釣りはどうだった？
 航成：なにも釣れなかったから残念だった。でもカニ（注；ザリガニ）が抱っこして欲しがってたね。グワーッて。
 父：ああ、夫馬君が捕まえてくれたヤツね。まあ抱っこじゃなくて、威嚇だねあれは。
 航成：カメもいたし、魚も抱っこ出来たね。
 父：焼肉はどうだった？
 航成：焼肉はパパが全部食べたでしょ。お兄ちゃんが手品をしてくれたね。
 父：その後の忍者屋敷や金魚すくいはどうだった？
 航成：戦いごっこが楽しかった。
 父：チャンバラね。お腹のボール、手で押さえてたね。
 航成：こうちゃんがまだ子供だから、金魚すくいは難しい。
 父：ガチャガチャでスライム買ってもらったね。
 航成：だいぶ遊んだね。家をよごしちゃったからママにもだいぶ怒られたけど。
 父：来年もファミレク行く？
 航成：行きたーい。



《ご寄付のお礼》

前第26号の本誌上におきまして当青年部運営のご寄付をお願いいたしましたところ、現在まで27名の先輩先生方を含め47名の皆様方より総計650,000円のご厚志を頂戴いたしました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

伝言板

《会員異動（前号編集以降）》

入 船／富 井 瞳 湊町1丁目-4番-36-710号

前 田 卓 哉 幸町1丁目3番16-702号

世 良 章 子 難波中1丁目13番8号 なんばアリーナビル501

辻 元 英 幸町2丁目3番14-405号 税理士法人なにわ会計

松 村 信 也 元町1丁目7番5号 CLASSY COURT603号



☎080-3812-8293

☎6647-0444

☎6568-2510

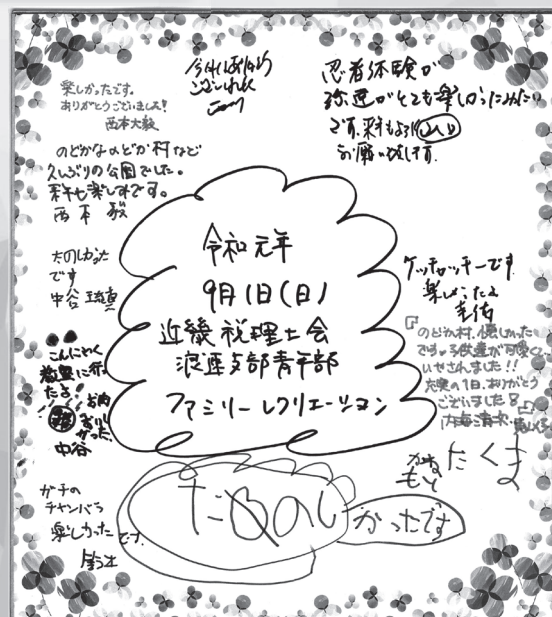
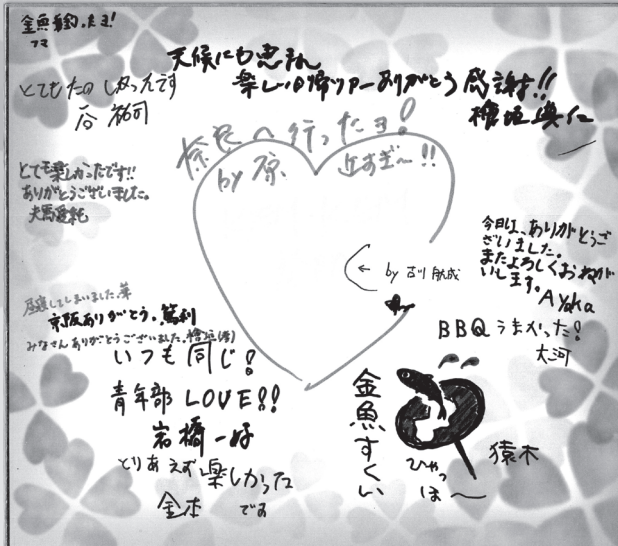
☎6556-7644

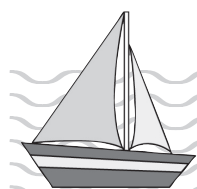
出 船／上 林 久美江（退会）

園 田 容 章（城東支部へ）

ふぁみれく コーナー

R1.9.1 信貴山のどか村と奈良祭都





入船! 皆さん、よろしく



富 井 瞳

令和元年5月に浪速支部青年部に入会させていただきました富井瞳と申します。

先日、青年部定期総会及び意見交換会に参加させていただき、たくさんの先輩方とお話しする機会をいただきました。浪速支部主催のイベントに参加させていただくこと自体が初めてだったこともあり、会場についた瞬間から大変緊張していたのですが、先輩方のほうから優しくお声がけ下さったおかげで、すぐに打ち解けることができました。とても感謝しております。

ところで、私の趣味はお酒と音楽なのですが（お酒の味が分かるわけでも美声を響かせることが出来るわけでもありません。）、意見交換会やその後に連れて行っていただいた二次会で美味しいお酒をたくさん飲ませていただけてとても幸せでした。温かい先輩方ばかりの青年部の仲間に入れていただくことができとても嬉しく思います。今後とも宜しくお願い致します。



平成30年度 青年部活動だより

平成30年8月1日 ～令和元年7月31日

I 役員会開催関係

- | | | |
|---------------------------------|-------|--------|
| • H30. 8.31 「定期総会・意見交換会」第1回打合せ | パンチャン | 出席者12名 |
| • R1. 7. 1 「ファミリー参加レクリエーション」打合せ | パンチャン | 出席者10名 |

II 活動関係

- | | | |
|--------------------------------|---------|---------|
| • H30. 9.14 「第23回定期総会・意見交換会」開催 | 道頓堀ホテル | 出席者33名 |
| • H30.10.29 「なみせいだより」第26号 編集会議 | 道頓堀ホテル | 出席者14名 |
| • H30.11.13 「なみせいだより」第26号 最終校正 | 浪速支部事務局 | 出席者10名 |
| • H30.11.28 「なみせいだより」第26号 発送準備 | 猿木事務所 | 出席者 5 名 |
| • H30.12. 1 「なみせいだより」第26号 発刊 | | |
| • H30.12.12 「冬季意見交換会」開催 | 道頓堀ホテル | 出席者31名 |
| • R1. 9. 1 「ファミリー参加レクリエーション」開催 | 奈良方面 | 出席者36名 |

* 編集後記 *

9月20日から11月2日まで、日本でラグビーワールドカップが開催されました。

結果は皆さんご存じの通り、日本を下した南アフリカが強豪イングランドを破り、優勝カップを勝ち取りました。そして、我々が日本代表も一次リーグを全勝で突破し、ベスト8に駒を進める大躍進を成し遂げました。まさに1995年南アフリカでの第三回ワールドカップ、対ニュージーランド代表“オールブラックス”戦、145対17の惨敗を記憶している世代としては、日本の大躍進は感極まるものがあります。

大躍進の要因は前回大会以降、日本代表がフィジカル面と技術面での成長を猛練習により、世界レベルにまで引き上げたことでありましよう。しかし、私は、対スコットランド戦のラスト5分の攻防で見た、日本代表選手のチームに対する献身さこそが一番の鍵であったと思います。基本的に、現代ラグビーは体の大きさや

俊敏さによってポジションが決まり、攻守のスタイルも定型化しているものと思います。が、ラスト5分で見た肉弾戦は、選手の役割など二の次に、体の大小ではなくチームの為に、次から次へとボールめがけ飛び込み、捨て身の堅守によって勝利を引き寄せるものでした。それは、泥臭いながらも、美しくもあったと思います。

青年部も西本新青年部部長の下、新たな体制で活動を進めていくこととなりますが、ラグビー日本代表同様、チームに対する献身さを持ち、泥臭くありながらも、美しい青年部でありたいと思った次第です。そして、執行部だけではなく、青年部所属の先生方、さらには支部の先輩先生方をも含めた“ONE TEAM”で新たな青年部を推進しなくては、と偉そうに思うのでした。

(谷 祐司)